

愛知スキー協通信

No.271

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会

2017年 9月 1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp (月1回発行)



<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>

編集クラブ：S.C.直滑降

愛知スキー協会 第46回定期総会を終えて PART 2

文責 理事長 寺田 康男

分散会での発言内容の一部 (No.270号の続き)

第2分散会では、拠点スキー場の議論はほとんどされませんでした。やったことも無いことに想像ができないようでした。また、クラブと自分自身にとっての利点がみえてこないようでした。何故この提案が出たのかの説明がされなかったから、その議論にならなかったそうです。

第1分散会では、議長が誘導したわけでもなく自然に「人を誘って何処のスキー場に行くのか」の話の流れで②の提案議題に入っていました。

自分手自身の楽しみ方や、今までのクラブの特色は活発に語れても、今後に何が繋がるのかに自信が持てない。また、特色として培ってきたものが無くなってしまった報告が多かったようです。



新たに湧いてきた理事長の思い

この機会から「報告や発言は、一度に幾つかを言うのではなく、その時出された議題に対して一行でまとめて一つだけに」です。次の人が発言した後、その意見に対して補足が有るのなら、また一行でまとめて一つだけにして議論をする習慣や訓練が出来るようになってほしいです。

みんなが慣れば、もっと多くの人数で総会や理事会の議論が深く、楽しく、出来るようになります。インパクトの無い、何を言いたいのか判らない発言が多すぎます。



意味の判らない発言を否定しているのではないです。一行にしてほしいのです。それによってその意見に寄り添うのか、反発するのか、方向修正するのかははっきりするからです。

二つでは、困るのです。長台詞は、思いが強ければあって良いと思いますが、考えを一つにして強調してほしいのです。

要約された短いインパクトのある「テーマ」を望んできましたが「教え合う」「誘い合う」「繋ぎ合う」「積み上げる」を4年周期でスパイラル的に復^{また}「教え合う」から始まるのはどうだろうか？

「積み上げる」とは、積み上げすぎても崩れてしまうので何を積み上げるのか考える時期でもあるということです。そして、再び次の次元の違う「教え合う」に進めるのです。「積み上げる」が実現なしに5年がたった今年こそ整理する年にしたいと思います。崩れることを逃れたいのです。

今、居心地が良いと、このままが良いと保守的になりがちです。選^えり好みしてクラブに誘っていない人がいませんか？嫌なやつは自分との共通点が意外と多いのです。同じところで、同じように引っかけり、お互いに同じようなことを言っているのに、表現が少し違うだけで自分達の意見と違うことを言っていると思込んでいます。似ているのだから嫌いなのです。

後から、あくが強い奴が来ると、クラブの色に合わない人とみんなで思い込もうとしてしまいますが、同類であるが故に受け入れる利点より、面倒くさい部分がみえてしまいます。肥やしだと思い、勇気をだして、仲間を引き込んで三者的につきあいましょう。そうしないと引き波^{さら}に浚われてしまいますよ。「同類相哀れんでください」それが出来ていると大波に乗れるはずです。今すでに、うねりのような小さな波は常にきています。



山スキーのつどい

日 程：11月10日（金）pm7：00～9：00

会 場：ウインクあいち

講 師：大森義彦氏

元高知大学教授（専門：体育学・スポーツ科学）。クライミングやスキー登山の名手として活躍されています。著書「健康長寿登山」「登山の体をつくる」「高知県の山」「登山食」など多数



※詳細が決まり次第、お知らせします。



大森義彦氏

東海ブロック役員会議&スノーフェスタ実行委員会報告

東海ブロック役員会議&スノーフェスタ実行委員会を8月26日（土）～27日（日）に開催しました。各県より、指導員・役員を中心に全体で14人（愛知:9人、岐阜:3人、三重:1人、静岡:2人）が参加しました。場所は、江南市の「なかちゃんハウス」でした。

内容は、東海ブロックとしての「シーズン計画」、「スキー学習交流会」、「2018スノーフェスティバル」、各県の状況報告などです。

「シーズン計画」については、次月以降のスキー協通信や、各クラブの機関紙等でもお知らせしています。今回の役員会議では計画の詳細について確認しました。



「スキー学習交流会」は10月28日（土）～29日（日）に行われます。10/28（土）は東海市勤労センター（会議室・宿泊室）で行います。10/29（日）は場所を変えて、東海市立文化センター（会議室）で行います。指導員は全ての講義を受講で理論研修修了扱いとします。講師は内部講師を予定。指導員以外の方もぜひご参加ください（詳細は案内チラシをご覧ください）。

「2018スノーフェスティバル」は2018年1月17日（土）～18日（日）に平湯温泉スキー場にて開催されます。現在、新しい企画も検討しておりますので、ご予約ください。

s.c.直滑降ニュース

s.c.直滑降は、7月8日（土）13:30～16:30、緑区の生涯学習センターにて、2017年度の総会を開催しました。総会には11名が参加し、昨年の1年間の行事活動、今後の1年間の行事計画などについて話し合いました。

スキー行事については、昨年、近場を中心に計画を立てました。毎年恒例の2月第1週「流葉ツアー」は、今年度（2018年）は中止とし、翌週の2月9日（金）夜発～12日（月）までの3連休にちょっと遠出のスキーツアーを実施することになりました。長らく実施してきた「流葉スキーツアー」（昔はバスツアーとして行っていました）ですが、ここ最近参加者も少なくなり、翌週が3連休となっていますので、とりあえず来年は「流葉スキーツアー」に変わるスキーツアーを実施します。場所は野沢温泉、志賀高原などが候補に挙がりましたので、運営委員会にて検討し、秋ごろに具体化します。

s.c.直滑降では毎月、例会としてオフシーズンも含めて行事を開催しております。毎年恒例で8月最終週に「ひるがの高原テニスツアー」を開催しておりましたが、予約等の都合により、9月30日～10月1日となりましたので、8月の例会はありませんが、総会で決定（予定含む）した行事をご紹介します。s.c.直滑降の行事は他のクラブからの参加も大歓迎ですので、お問い合わせください。

9月30日～10月1日 ひるがの高原テニスツアー（テニス以外もOKです）

12月30日～1月3日 年末年始スキーツアー（予定・菅平高原）

2月9日（金）夜発～12日（月） s.c.直滑降スキーツアー（場所未定）

2月の最終週頃 新人歓迎スキーツアー（場所未定）

3月17日～18日 さよならスキー

※そのほかにも「ボーリング大会」や「釣り&バーベキュー」も計画しています。また、スキーのオフトレとしてバドミントン（通年・毎週水曜日）やテニス（オフシーズンの土曜日・月2～3回程度）なども開催しています。お問い合わせは、1ページ目の上部にあります、愛知スキー協のメールアドレスへ。

新役員は昨年度に引き続き同じメンバーを選出しました（会長：加藤、副会長：三宅、永田、山田、土屋多賀子）。総会終了後に向かい側にある「キッチン米常」にて懇親会を行い、15名が参加しました。

海の冒険学校改めイエティ合宿

昨年実施できなかった海の冒険学校、冒険学校という形でチラシを作り多くの方の参加を呼び掛けることは準備できないということでイエティ合宿海の冒険学校版ということで行いました。8月12日～15日の3泊4日で行いました。加藤加苗家は8月14日朝合流参加しました。海の冒険学校では、潮岬青少年の家テント泊の自炊でしたが宿泊棟に泊まり朝食もお願いしました。昼・夜は外食でその分海を楽しむようにしました。

参加者は、金子家3名、澤田家3名棚橋家3名（澤田カーで）、加藤家4名の合計13名内小学生5名です。12日2時30分潮岬青少年の家集合しました。早速海に行きシュノーケリングしました。道端に車を止めてすぐ海でとても便利なところ。宿に帰り水洗いをした後串本で外食、疲れもありその日は爆睡。

13日午前タイドプルー山超えて海大変透明で波もほとんど来ず、楽しいところでした。タイドプールに一部外洋と水の出入りしているところで外の海を見るとイシダイやグレが沢山いました。見惚れていると一気に外に流されました。岩を掴んでいたのですが、一瞬で外に帰りの波で戻って来ましたが擦り傷作ってしまいました。午後は釣りをしました。



タイドプール

子ども優先なので港でサビキ釣りをしました。あまり釣れず、坊主でなかったのが幸いでした。小さなカサゴが一匹、アジが数

匹。一番大きかったのは食べられないキタマクラ。青少年の家のピザづくりで夕食。僕は釣れた小さなアジとカサゴを三枚に下してピザの具にしました。



カヌー全体

14日古座川カヌーツアーで古座川駅にそこで加藤家と合流。2回目の子どもばかりで結構慣れたものでした。金子家3艘一人乗り、後2人乗り5艘で出発、リーダーイチロー艇最後尾艇で出発。昼食中何人か一人艇挑戦、そこから勇斗は一人艇に、無事全員ゴール。

青少年の家に帰り、その後潮岬を見学して串本で夕食。宿に帰

って花火をして就寝。夜釣りを考えていましたが、スタミナなく挫折。

15日午前12日と同じ場所で海を楽しむ。子供たちはライジャケを外し潜る練習をしてできた子は深い方に行って潜りました。知希余ったエサで釣りをする。なんと一投で25cmのカワハギを釣り上げる。宿に帰り着替えて、回転すしの「黒潮寿司 串本店」で昼食後解散。加藤家はせっかく来たのだからと釣りへ、澤田カーは知希が明日勤務ということへ帰路に着きました。



潜る練習



飛び込み

—昨年コクワガタが沢山いたのでクワガタをゲットしようと2Lのペットボトルを使ったバナナトラップを12日夕食前に仕掛けました。直後、すごい大雨で没。予備に持って行ったバナナなどを使って作り直して13日夜仕掛ける。14日朝ヒラタクワガタ雄ゲット。夕方帰ってきたら残念死亡していた。15日朝メスのカブトムシー匹。クワガタ捕まらず。なんと宿のベランダでイチローさんコクワガタを見つける。よく見たらもう1匹ゲット、思ったほど捕まらずでした。